

会 議 報 告 書

1 会議名	平成26年度第4回北上市子ども・子育て会議		
2 日 時	平成26年10月23日（木） 午後1時30分～3時10分	3 場 所	本庁舎5階 第1会議室
4 出席者	【委員】 今西界雄会長、小田島瑠璃子委員、笠井壽枝委員、古舘弘美委員、鈴木恵美子委員、高橋郁男委員、小川さつき委員、畠山竜司委員、大塚健樹委員、及川正男委員（委員出席10名、欠席4名） （事務局） 5名 （傍聴者） 1名		
【内 容】 次 第 1 開 会 2 挨 拶 （教育部長、今西会長） 3 議 事 （議事は今西会長の進行） (1) 保育の必要性の認定について （資料1 「保育の必要性について」に基づき高橋係長が説明） 説明の要旨 ：保育の必要性の認定は、国の定める基準に従うが、基準の詳細については、地域の実情に応じて市町村で定めることとなっているので、その点を協議願いたい。 ①保育の必要性の認定における保育の下限時間については、1月あたり60時間、ただし1日あたりの就業時間や1月あたりの就業日数の制限をなくすことと定めたい。 ②就労以外の事由による保育の必要量の認定については、基本的には全て保育標準時間（11時間）としたい。 ③認定の有効期間については、求職活動は国の最高限度の90日に、育児休業は育児休業期間中に、そのほかの事由の場合は保護者の状況を勘案し、市長が認める期間と定めたい。 協議結果 ①、②、③について原案通り賛成。 （質問、意見はなし） (2) 「北上市子ども・子育て支援事業計画」について （資料2 （仮称）北上市子ども・子育て支援事業計画の設計案、以下の資料により高橋係長が説明） 説明の要旨 ：次年度に向けて策定を進めている子ども・子育て支援事業計画について、資料No.3により基本理念、基本的視点、基本目標等の案について説明。資料No.4により想定される事業案について説明。 協議結果 基本理念、基本的視点、基本目標、施策の基本方向については了承。 想定される事業については、今後も追加する項目が出てくると考えられるので、本日の意見を事務局で追加修正し、引き続き協議することとなった。			

【主な質疑・意見】

- ◆被災地では**里親とのマッチング**について計画に入れているようであるが、必要ないか。
→北上でも里親登録し、引き受けている家庭がある。県では児童虐待も含め、里親制度の推進を図っていきたいと考えている。その視点はなかったので検討する。
- ◆**子育て支援コンシェルジュ**について、面と向かって相談できない場合のために、ネットの活用による匿名性のある、できるだけ早い回答が出せるシステムがあればよいのではないか。
- ◆食育のところだが、働いていると食事を作る時間がなくて大変なので、1週間手抜き献立プログラムなど作っていただくと、助かる。
- ◆家庭児童相談員の訪問については、民生委員と連携を深め、子育てコンシェルジュに繋いでいければいいのかなと思う。
- ◆子育て支援センターに行かなくても、赤ちゃんの駅的なものを企業の1室を借りるなどして点在させておくと、安心してでかけられる。
- ◆大企業などでは、住民票を移さずに居住している場合もあるのではないか。地元誘致企業への声掛けをして、単身赴任の方などへ市の子育て支援のプログラムを紹介してもらったり、インターネットを活用するなど、**計画の周知方法**について検討してほしい。
- ◆子育て支援コンシェルジュについては、検診の時、母子手帳の交付の時などにその場に行きたいと思う。また、子育て支援センターにいるのはいいと思う。
- ◆食育に関連して、小中学校の給食にも北上らしさや栄養面の充実を望む。地域に食生活改善推進員がいるので、その方々と学校給食と交流したりアドバイスをもたらしたらどうか。
- ◆子ども110番の家や防犯パトロールについては、もっと周知したり、企業にも110番の家になってもらうなどしたらいいのではないか。犬の散歩をしている人にも頼んだりしているところもあるようだ。
→学校給食については、様々な研修会を実施したり、地産地消の取組など進めている。また防犯についてはスクールガードリーダーが学校を巡回してアドバイスをするなどの活動を実施し、児童の安全に係る取組も推進している。PRが足りなかったようなので、現在実施している内容についてPRをしていく。
- ◆**子育て支援センターでの一時預かり**は、顔見知りの方に預けられるので、いいと思う。
- ◆以前公立保育園や幼稚園の合併などの話があった。一方私立幼稚園も預かり保育などにより、保育環境が充実してきているので、**公立幼稚園を建て替える必要はあるか**。
→飯豊保育園については、今年度から検討を進めている。具体的にはこれから。黒沢尻幼稚園は29年度頃の着手かと思っている。以前公立保育園、幼稚園の合併などの話があったが、その後認定こども園などがでてきて、再検討が必要になっている。この**計画の中で、市内全域で方向性を検討**していく。
- ◆入園前の、そもそもの**少子化対策**については、この計画書には入れないのか。
→少子化対策について、直接は記載していないが、安心して子育てできる環境を整えることで新たな子育て世帯が増え、間接的に少子化対策につながると考えている。
- ◆保育士や、計画に関わる方々が集って話し合う機会などがあれば計画も進むし、北上市はそういうところが進んでいると聞いているので、そこらへんを紹介したらどうか。
- ◆**3交代とかで夜も働く方のために、時間をずらして開所する**などの案はないか。
→現在24時間開所は認可外の保育施設しかなく、公立で始めるには、どれくらいの利用があるか見込んで行うことが必要。また、ワークライフバランスということで、企業に理解していただき、子育て家庭に配慮した環境をつくるなど、両面で進めていかなければならない。

